

モモ病虫害の発生状況（7月） 調査地点：福島地域9園地、伊達地域9園地

令和3年8月17日
福島県病虫害防除所

(1) 灰星病

果実での発生は確認されませんでした。晩生種では今後の発生に注意し、地方の防除暦に従い薬剤散布を実施しましょう。特に収穫期の20日前頃から果実への感染がしやすい状態になるため、散布間隔をあげずに薬剤散布を実施しましょう。

(2) せん孔細菌病

新梢葉、果実での発生ほ場割合は、平年並でした（図1、2）。

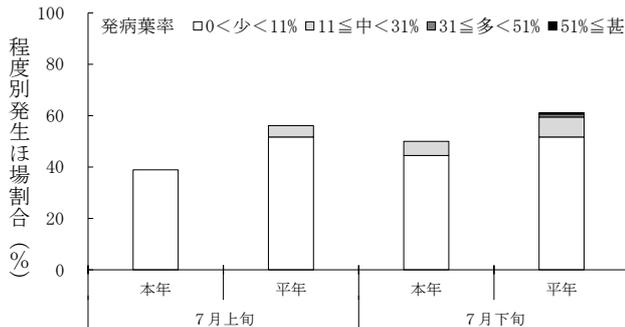


図1 新梢葉での発生状況

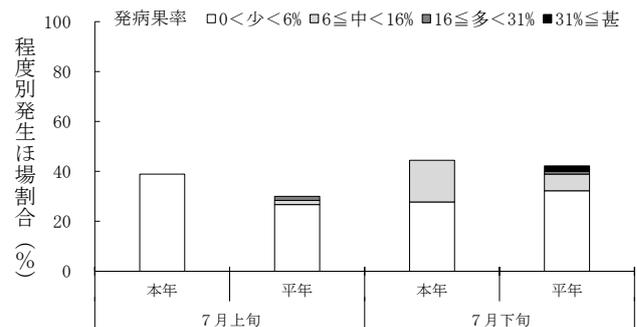


図2 果実での発生状況

(3) モモハモグリガ

新梢葉での被害は確認されませんでした。園地を見回り、発生が多いほ場では収穫後であっても薬剤散布を実施しましょう。

(4) ハダニ類

新梢葉での寄生ほ場割合は、平年よりやや高く、一部の園地では発生程度が高い状況でした（図3）。

園地での発生状況をよく観察し、要防除水準（1葉当たり雌成虫1頭以上）に達した場合は、薬剤散布を実施しましょう。

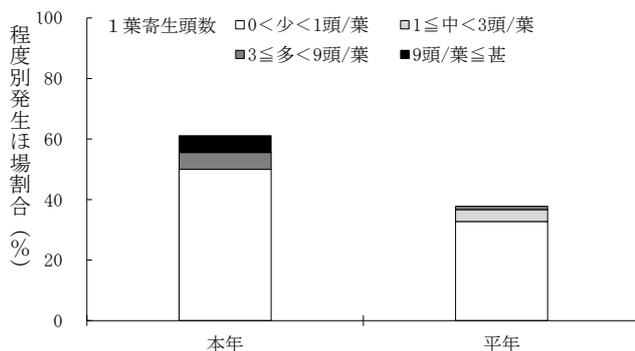


図3 新梢葉での寄生状況（7月下旬）

(5) 果樹カメムシ類

果実被害は確認されませんでした。